

パチンコ依存相談 4ヶ月で499件

今年4月19日にはちんこ依存相談機関「リカバリーサポート・ネットワーク」(事務局/沖縄県西原町・西村直之代表)が開設していた電話相談に8月末までに延べ499件の相談が寄せられていたことが分かった。10月12日に開かれた臨時全国理事会後の全日遊連の記者会見で報告された。この相談機関は全日遊連の支援のもとに設立した同連合会の第三者機関に位置づけられている。

報告によると相談電話は41都道府県に分散、ほぼ全国的に寄せられた。また相談者の72%までが他の相談機関への相談経験のない人たちだったことも判明している。

またパチンコ以外の他の遊技・ギャンブル問題を合併している相談は全体の約10%で、90%はパチンコ依存に悩む相談で占められており、少なくとも65%が借金問題を併発していることも確認された。さらに相談者の約6割が女性で、本人34%、家族58%だったことも分かった。相談内容でもっとも多かったのは、「やめる(やめさせる)方法」、「地域の相談先を知りたい」がこれに続いている。

こうした状況から全日遊連では本年度の相談件数は1000~1500件に達するとの予測を立てている。